



金澤北ロータークラブ



『今だからこそ問う、ロータリーとは何か』

金沢北ロータリークラブ卓話 (3)

R.I第2680地区パストガバナー 深川純一氏

何はともあれ、今正に、「ロータリーの核」が危殆に瀕していると言えるのであります。

今、私達が今生きている世界には、時代の変遷に従って変わらなければならないものと、如何なる時代にあっても絶対に変わってはならない「核にあるもの」とがあります。したがって、ロータリーもこれと同じでありまして、時代が変遷し、現象としてのロータリー、即ち、ロータリーの現状がどのように変化しようとも、何時も、ロータリーの本来あるべき姿は何か、という本質論を見失ってはならないと思うのであります。即ち、ロータリーの本質に根ざした万古不易なもの、即ち「ロータリーの核」は、変わってはならない、なくなってはならないと思うのであります。

世界の平和のためには、佐藤栄作総理の非核三原則によって核があってはならないのであります。ロータリーには、核がなければならぬのであります。にも拘わらず、以上申し述べましたように「ロータリーの核」がなくなってしまったのであります。では、「核の無くなったロータリー」は、一体何処へ行くのでありましようか。

かの有名な文豪バーナード・ショウは、「ロータリーよ、何処へ行く。あれは昼飯を食いに行くのさ。」と皮肉ったと謂われています。然し、昼飯でも食えればまだ結構であります。もし、事態がこのままに推移すれば、ロータリーは壊滅して黄泉の国へ行ってしまう。

では、もし、ロータリーが壊滅すればどうなるのか。ロータリーという形骸は残るかも知れません。然し、それは最早、魂の抜け殻であって、ロータリーの亡霊に過ぎません。何年か前に或るパストガバナーが言いました。"Rotary rest in peace"「平和の中に横たわるロータリー」即ち、「死せるロータリー」。

では、そこでロータリーは終わるのか。否。終わってはならないのであります。キリストが復活したように、そこから本当のロータリーを築き上げていくべきであります。

しかし、一体、そんなことが出来るのか。人類社会に生まれた良質な思想・原理は、決して滅び去るものではありません。あらゆる組織は一つの現象でありますから何時かは生命を失って消滅します。然し、良質な思想とか原理は、人間の

本質にあるものでありますから、時代を超越して生き続けるものなのであります。

喩え話をします。二人の坊さんが刀を持って喧嘩をしました。一人の坊さんが他の坊さんの首を刎ねました。その首が中空に飛び上がって、そこで止まり、やがて2000年後にその首が或る坊さんの首にスポッと収まりました。この公案を如何に解くか。

中空に飛び上がった坊さんの首を人間の思想と考えて下さい。そして、首を斬られて倒れた胴体を組織と考えて下さい。倒れた胴体=組織は、そこで死滅しますが、中空に飛び上がった首=思想は、時代を超越して中空に止まり、やがて、その思想を受け入れる人=坊さんが現れたときに、その首にスポッと収まって、そこからまた、その思想は社会に蔓延していくということを意味するのであります。そのことを立証する事実としては、例えば、

古代ローマ帝国は、紀元後3世紀に滅亡しましたが、ローマ帝国は、滅亡の直前にローマ法という素晴らしい法典を作り上げていました。その中の所有権の思想・原理は、現代の日本民法第206条にそのままの形で復活しているのであります。

このように、国家とか組織（これは目に見えるもの）は、現象的には消滅しても、良質な思想・原理（これは目に見えないもの）という本質的なものは、決して消滅することはありません。何時かは必ず復活します。

ロータリーも一つの組織でありますから、時代の変遷につれて消滅することがあります。したがって、例えば、一業一会員制という制度は、ロータリー創立後95年経って規定審議会の決議によって消滅しました。

然し、これは一つの現象に過ぎません。したがって、その制度に内包された良質な思想・原理は、決して消滅することはないと思います。私は、今でもこの原理の優秀性を信じています。したがって、今でもこの原理はロータリーの核にあるものであると説いています。したがって、何時かは必ず制度として現象の世界に復活するものと思うのであります。

では、それは一体何時か。一業一会員制は、ロータリー創立後95年を経過して消滅しました。では、95年のスパン

で復活するのか。それは解りません。それは、10年後かも知れませんが、或いは100年後かも知れませんが、しかし、いつかその時が来ることを信じて疑わないのであります。

私は、ロータリーは、未来を夢見る思想であると考えています。そして、ロータリアンは、須く理想主義者であるべきだと思っています。これも、今日のテーマ「ロータリーとは何か」という問いかけに対する一つの回答であります。

何はともあれ、私達ロータリアンは、皆職業人であります。したがって、先ず自分の職業を愛すべきであります。自分の職業を愛すればこそ、やがてそれが他者への思いやりとなり、他者への愛の心が芽生えるのであります。そのことによって初めて、職業人としてお互いに為すべきこと、為すべからざることを誓い合う所謂「職業倫理」の自覚・提唱に繋がっていくのであります。

そして、それがやがて企業の社会的責任の自覚へと発展して行くのであります。したがって、職業人にこの点の自覚がなくなると、最近の市場原理主義のように職業倫理を失って、ライブドアや村上ファンドのような金儲け一本槍の拝金主義となり、「資本の論理は力の論理」で大資本は益々大きくなる格差社会となり、やがて古代ローマの格言に「人は人にとって狼である」と謂われているように、弱肉強食の世界に陥って行くことになるのであります。

「歌を忘れたカナリヤ」は世間に害を与えませんが、倫理を忘れた職業人は、やがては国を滅ぼすことにもなりかねないのであります。古代ローマの貴族が同性愛に耽ったために子孫を産めなくなつて没落し、50年にして古代ローマ帝国が崩壊して、そのあと中世の暗黒時代が始まったという説もありまゝです。このように、一国の興亡は、国民の倫理の頹廃によることがあるのであります。

だからこそ、ロータリーは、人間としてあるべき心、即ち、「倫理」を高めることをロータリー運動の第一義としているのであります。正に、ロータリーが倫理運動と謂われる所以であります。

ところが、その倫理運動が現在の私達の社会において一体どれほど効果を上げているのでしょうか。

我が国の現状はご承知のように、政界、財界、官界を問わず一般地域社会に至るまで、汚職は言うに及ばず、強盗、強姦、殺人、果ては不倫まで倫理の頹廃振りは誠に目に余るものがあります。ロータリーが倫理運動であることが全く機能していないように見受けられるのであります。即ち、

最近、企業倫理、職業倫理に反する事件、企業の不祥事が頻発しています。その結果、例え優良な企業であっても、マスコミの厳しい批判に曝されて、一瞬にして企業の信用を失墜して消滅する事例があります。例えば、

牛肉の産地・品質を偽装した雪印食品は、偽装表示が発覚してから僅か1ヶ月後に会社の解散を決定しています。

また、家畜伝染病予防法違反の浅田農産は、鳥インフルエンザの発生を隠蔽したことが発覚してから僅か3ヶ月後に廃業を決定しています。

少し古くなりましたが、アメリカでも優良企業と言われた通信大手ワールドコムやエネルギー大手エンロンの粉飾会計等々がありました。

その他、姉歯建築設計事務所の構造計算偽造事件、更に、パロマ工業の販売した湯沸かし器による一酸化炭素中毒事件、そして、ミート・ホープの牛肉偽装事件、最も新しいところでは、赤福や船場吉兆の事件等々職業倫理に違反した事件は、誠に枚挙に暇がないのであります。

殊に、ミート・ホープの経営者は、こともあろうにロータリアンであり、しかも、元クラブ会長であり、事件当時はロータリー情報委員長であったと謂います。ロータリーは、一体どうなってしまったのでしょうか。こんなことは古き良き時代のロータリーでは、絶対に考えられなかったことであります。

これらの職業倫理頹廃の現象は、特に1990年代のバブル崩壊後、従来の高度経済成長の矛盾から生じた現象であり、経営者や従業員の職業倫理の衰退が原因であると謂われているのであります。

ところで、昨今、これらの事例を集約して、コンプライアンス、法令遵守ということが提唱されています。

しかし、法令を守る、法律や命令を守るということは、人間として当たり前のことでありまして、法令というものは、人間として守るべき倫理の最低基準を示すものに過ぎません。したがって、法令を守っておればよいというレベルの問題ではないのであります。

実は、ロータリーの提唱する職業倫理は、法令遵守というようなレベルの低いものではありません。法令遵守よりも遙かにレベルの高い倫理基準を提唱するものなのであります。昔から「ロータリーのロータリーたる所以は職業奉仕の実践にあり」と言われていますように、ロータリーは、20世紀初頭以来、職業奉仕の実践について、誠に高潔な職業倫理を提唱してきたのであります。私達21世紀に生きるロータリアンとしては謙虚に反省しなければならないと思うのであります。

「今だからこそ問う、ロータリーとは何か」これは、何時も心に反芻すべき言葉ではないかと思うのであります。ご静聴有難うございました。

以上

第1655回例会

2月21日(木) 晴れ 12:30~13:30 松魚亭

1. 講話

中山セントラル歯科 中川茂樹 氏
「いま、日本の歯科医療が危ない」



2. 出欠

出席 38名 欠席 24名
出席率 62.29% ビジター7名

3. 来訪者(敬称略)

金沢RC 平沢直正 蚊谷八郎
金沢西RC 小林 洋
金沢南RC 水野義男
百万石RC 吉田昭生 金沂秀 野城 勲

4. 幹事報告

・3月13日はクラブフォーラムを例会で行います
・例会終了後、次年度理事会開催

ニコニコボックス

百万石RC

いつもお世話になっております。本日は10周年記念事業に際し、懇願に伺いました。宜しくお願ひ申し上げます。

小間井君、中田(龍)君

本日の講師に、中川茂樹氏をお迎えして。

玉田君、松本君、杉原君

来る3月22日~23日の、米山梅吉会館研修旅行(日本のロータリーのルーツにふれる会)を締め切らせて頂きます。24名の多数参加に感謝しております。しっかり勉強をして参ります。

合計 15,000円 (累計 795,000円)

第1656回例会 夜間例会

2月28日(木) 晴れ 18:30~20:30 松魚亭

1. 点鐘

ロータリーソング「それでこそロータリー」

会長挨拶

落語 入船亭扇治師匠

乾杯 小間井会長

歓談

ニコニコボックス披露

閉会の挨拶 磯野洋明会長エレクト

ロータリーソング「手に手つないで」

点鐘

2. 出欠

出席 25名 欠席 37名
出席率 40.32% ご夫人 4名

ニコニコボックス

小間井君、中田(龍)君

本日のゲストに、入船亭扇治師匠をお招きして。

川口君 いつも夜間例会では、ザ・プレミアムモルツを沢山お飲み頂き有難うございます。今日は、お

帰りに3月4日新発売の、糖質ゼロ「ゼロ生」試飲缶をお持ち帰り頂き、お家で是非お試し下さい。お腹まわりが気になる方に最適です。

合計 4,000円 (累計 799,000円)



2月クラブ日誌

14日(木) 2月定例理事会 松魚亭にて
28日(木) 夜間例会 松魚亭にて

3月の例会変更・休会のご案内

.....金沢RC.....
3月5日(水) IMに振替のため休会
.....金沢東RC.....
3月10日(月) IMに振替のため休会
3月17日(月) クラブ定款第5条第1節による休会
.....金沢西RC.....
3月7日(金) IMに振替のため休会
3月21日(金) クラブ定款第5条第1節による休会
.....金沢南RC.....
3月11日(火) IMに振替のため休会
3月18日(火) 夜間例会 18:30~ つば甚
.....金沢北RC.....
3月6日(木) IMに振替のため休会
.....香林坊RC.....
3月10日(月) IMに振替のため休会
3月31日(月) クラブ定款第5条第1節による休会
.....みなとRC.....
3月4日(火) IMに振替のため休会
3月25日(火) クラブ定款第5条第1節による休会
※ IM(都市連合会) 3月8日(土) 13:30~
白山市松任文化会館

講話予定

3月20日(木)
祝日のため休会
3月27日(木)
金沢大学院人間社会環境研究科 教授 世古一穂氏
4月3日(木)
地域づくりコーディネーター 水野雅男氏



会長: 小間井宏尚 S A A: 本多 弘夫
会長エレクト: 磯野 洋明 会計: 松田 忠秋
副会長: 安宅 雅夫 広報委員長: 的場 晴次
幹事: 中田 龍一 会員数: 63名
副幹事: 中村 實博 クラブ設立: 昭和48年10月3日

例会日: 木曜日 12:30~13:30
例会場: 松魚亭 金沢市東山1-38-30
TEL<076>252-2271 FAX252-2273
事務局: 金沢市尾山町9-13・金沢商工会議所内
TEL<076>222-2525 FAX224-2882
E-mail:k-kitarc@aqu.hokuriku.ne.jp